

《最近の県内経済》 (2025年12月を中心として)

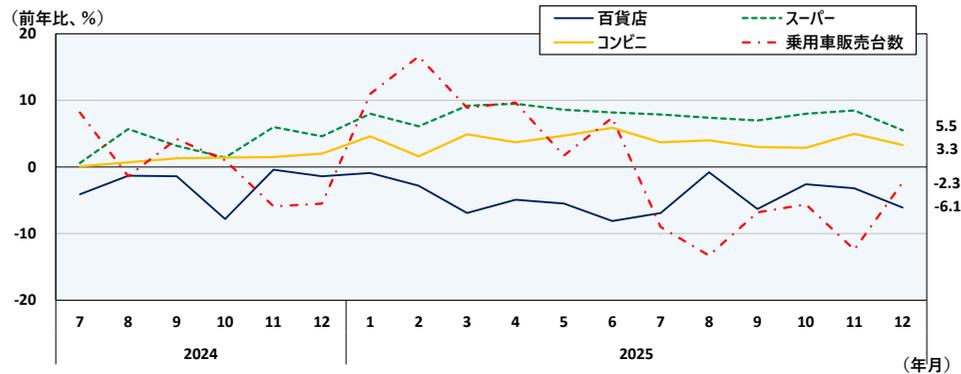
今月の概要

緩やかに回復している



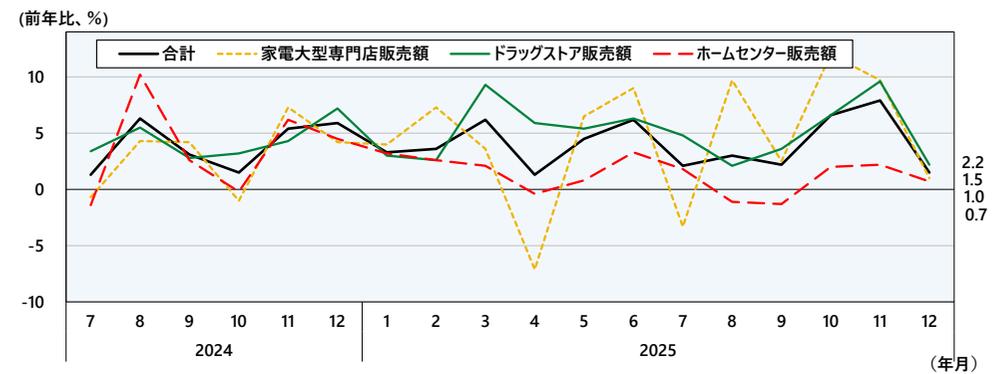
1 個人消費 ~緩やかに持ち直している →

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

12月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は160億円で前年比6.1%減(18か月連続の減少)、スーパーは1,397億円で同5.5%増加(39か月連続の増加)した。また、コンビニ販売は622億円で同3.3%増加(20か月連続の増加)した。食料品は点数については節約傾向が続いているが、価格の上昇により販売額は伸長した。

また、乗用車販売は、前年比2.3%減と6か月連続で減少した。内訳をみると、普通車が同12.3%減(6か月連続の減少)、小型車が同22.0%増(6か月ぶりの増加)、軽自動車と同1.0%減(2か月連続の減少)となった。一部の新型車や人気車とそれ以外の差が出ている。

12月の専門量販店販売額は963億円で前年比1.5%増と39か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店が225億円で同1.0%増(5か月連続の増加)、ドラッグストアが508億円で同2.2%増(43か月連続の増加)、ホームセンターが230億円で同0.7%増(3か月連続の増加)といずれも増加した。

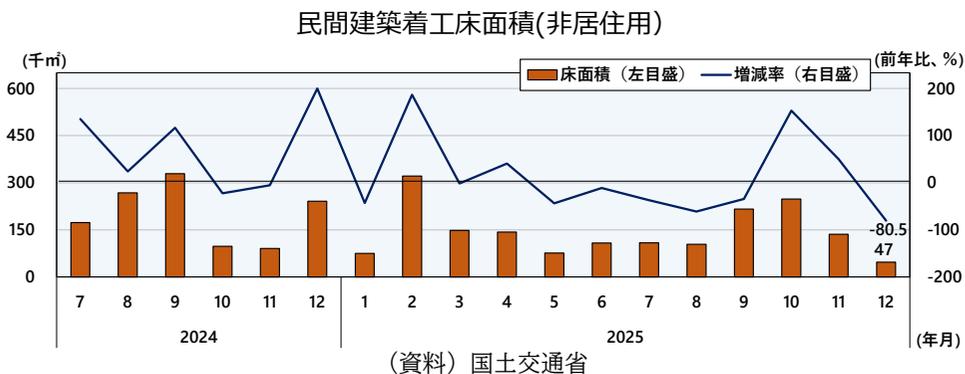
家電大型専門店では大型家電、季節家電が低調なものの、パソコンの買い替え需要が継続したほか、エアコンの販売が増加した。

ドラッグストアでは客数が伸びなかったものの、客単価の増加が売上増に貢献した。

ホームセンターでは全国的に気温が高く暖房用品は低調だったものの、年末準備品や大掃除関連商品が堅調に推移した。

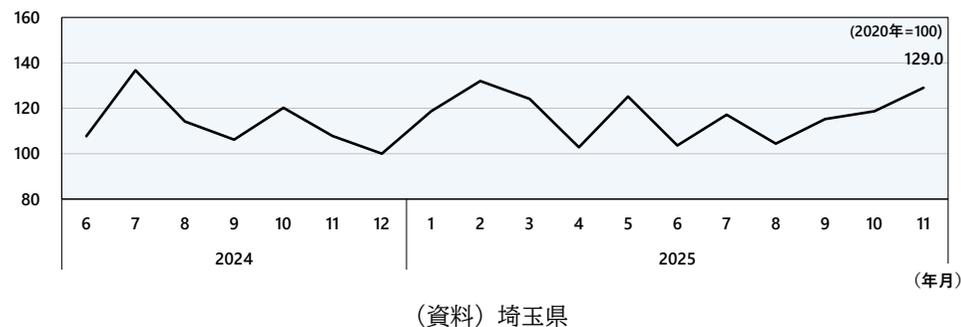
関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、11月<37.2>、12月<37.4>、1月<37.7>、と推移している。

2 設備投資 ~増加基調にある ➡



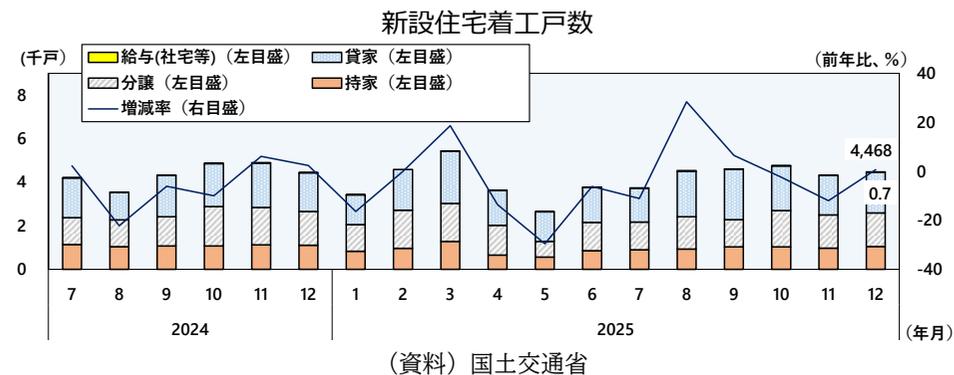
12月の民間建築着工床面積(非居住用)は、47千㎡で前年比80.5%減少した(5か月後方移動平均では、前年比26.9%減少)。用途別にみると、事務所は増加したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎、病院・診療所は減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



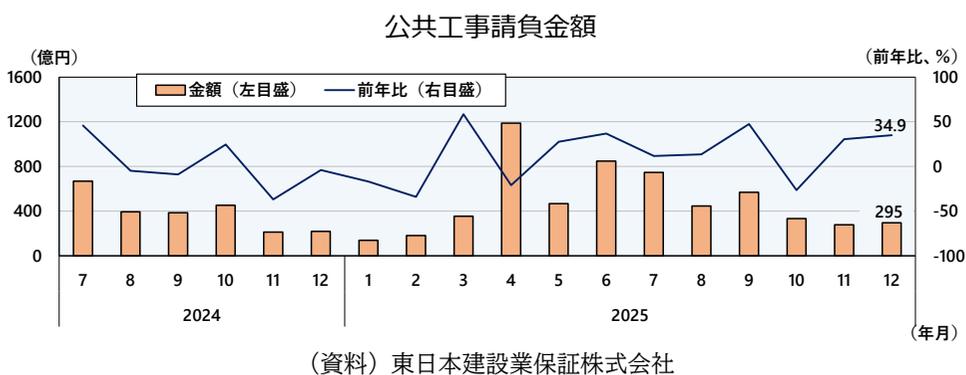
11月の資本財出荷指数(季節調整済)は129.0で、前月比8.7%増加した(5か月後方移動平均では、116.9で、前年比0.1%減少)。

3 住宅建設 ~弱含んでいる ➡



12月の新設住宅着工戸数は、4,468戸で前年比0.7%増加した(5か月後方移動平均では、4,533戸、前年比2.8%増)。利用関係別にみると、持家(1,043戸)が同5.5%減、分譲一戸建て(1,022戸)が同17.2%減となったものの、貸家(1,876戸)が同5.7%増、分譲マンション(515戸)が同66.1%増となった。

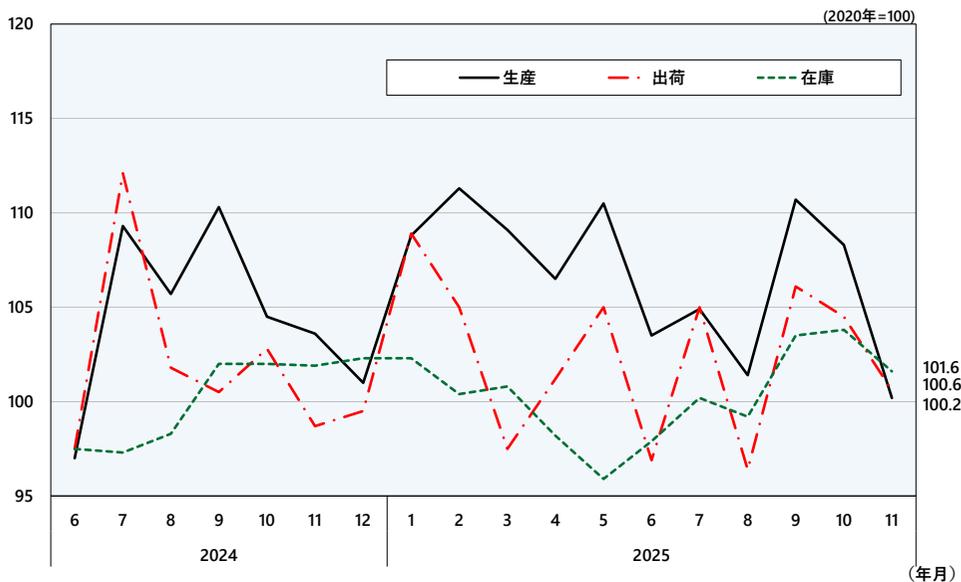
4 公共工事 ~底堅く推移している ➡



12月の公共工事請負額は295億円、前年比34.9%増加した。5か月後方移動平均では、384億円、前年比15.5%増で推移。発注者別の前年比をみると、地方公社は減少したものの、国、独立行政法人等、都道府県、市区町村は増加した。

5 生産活動 ~底堅く推移している →

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



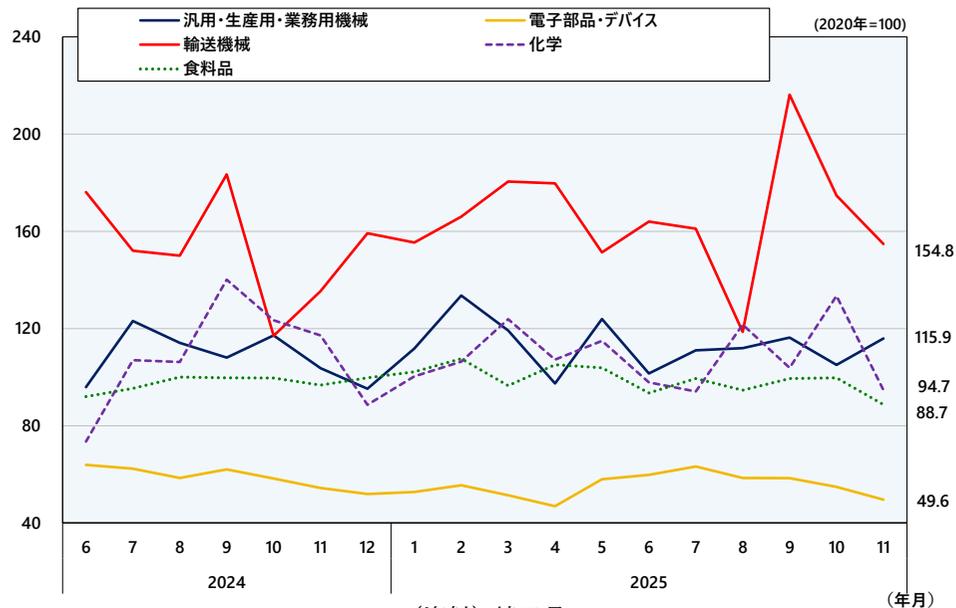
(資料) 埼玉県

11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、100.2で前月比7.5%低下(2か月連続の低下)した。生産用機械(半導体製造装置、コンクリート機械)、業務用機械(分析機器)などが上昇したが、化学(医薬品、印刷インキ)、食料品(アイスクリーム、氷菓)などが低下した。

出荷指数(同)は、100.6で同3.7%低下(2か月連続の低下)した。生産用機械(半導体製造装置、マシニングセンタ)などが上昇したが、輸送機械(乗用車、けん引車)、食料品(アイスクリーム、氷菓)などが低下した。

在庫指数(同)は、101.6で同2.1%低下(3か月ぶりの低下)した。情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが上昇したが、電気機械(電気計器、クッキングヒーター)、輸送機械(乗用車、けん引車)などが低下した。

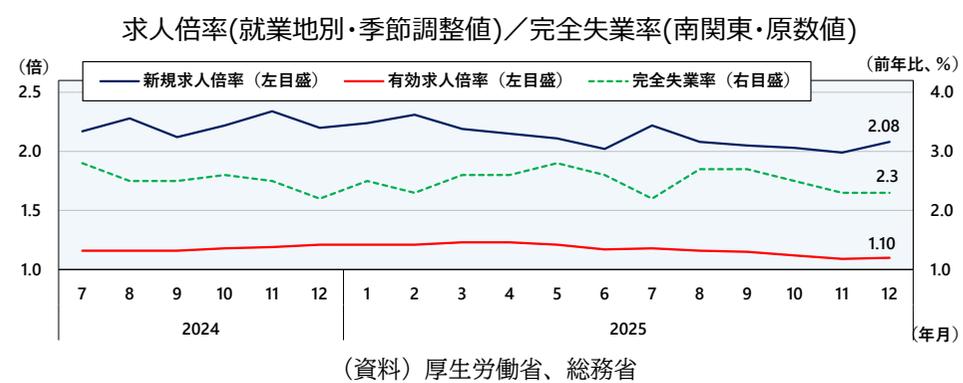
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

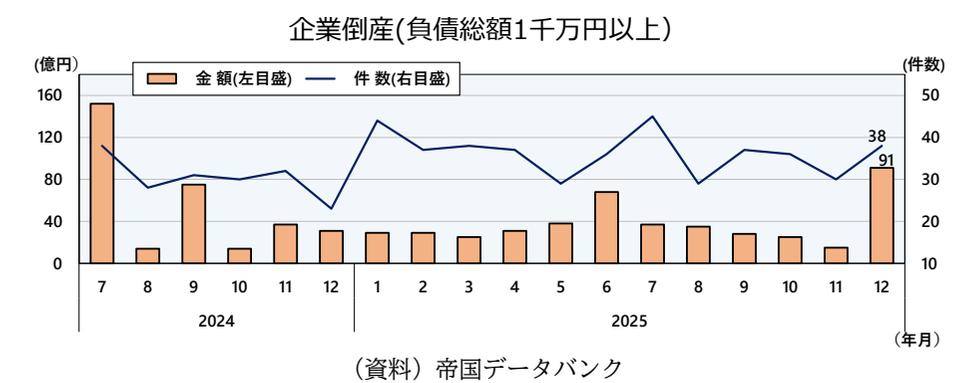
- ・汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、115.9で前月比10.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・電子部品・デバイス(同)は、49.6で同9.5%低下し、4か月連続の低下となった。
- ・輸送機械(同)は、154.8で同11.4%低下し、2か月連続の低下となった。
- ・化学(同)は、94.7で同29.0%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ・食料品(同)は、88.7で同11.0%低下し、3か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ➡



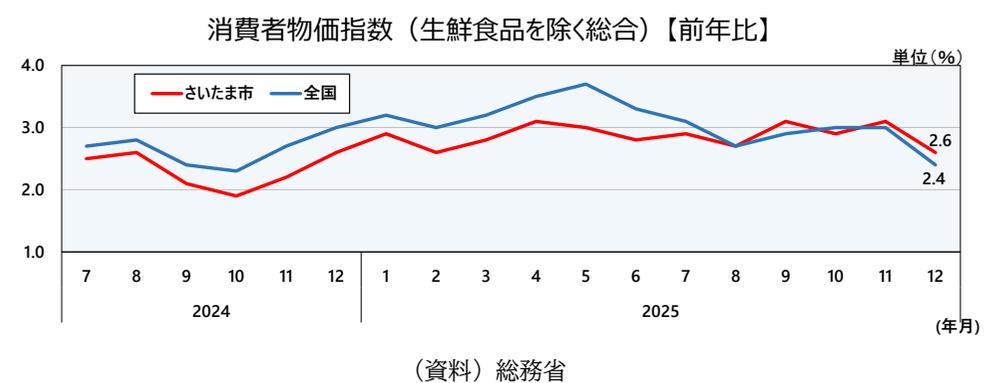
12月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.10倍で前月比0.01ポイント上昇した。新規求人倍率(同)は、2.08倍で同比0.09ポイント上昇した。
 また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.3%で前年同月比0.1ポイント上昇した(前年同月比3か月ぶりの上昇)。

7 企業倒産 ~緩やかな増加基調にある ➡



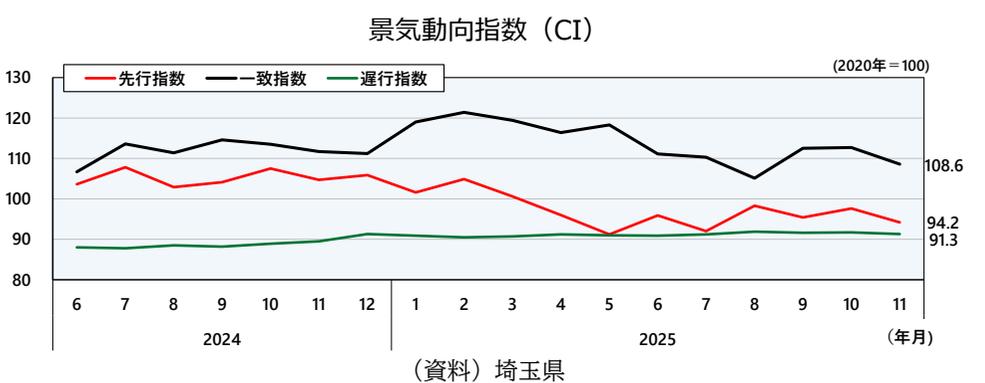
12月の企業倒産件数は38件で前年同月比15件増加した。また、負債総額は91億円で同比60億円増加した(5か月移動平均では、件数は前年比5件増加、負債総額は同5億円の増加)。
 業種別にみると、建設業が最多で12件、次いで卸売業が9件となっている。主因別では、販売不振が34件となっている。

8 消費者物価 ~緩やかに上昇している ➡



12月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、111.3で前年同月比2.6%上昇した(51か月連続の前年同月上昇)。
 食料(穀類(うるち米など))、住居(家賃(持家の帰属家賃など))が上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ~下方への局面変化を示している



- 11月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、108.6で前月比4.1ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、94.2で同3.4ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、91.3で同0.4ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。